野原はうたう ⑵

工藤　直子

あしたこそ

たんぽぽ　はるか

ひかりを　おでこに
くっつけて
はなひらく　ひを
ゆめにみて
たんぽぽわたげが
まいあがります

①とんでいこう　どこまでも
あした
たくさんの「こんにちは」に
②であうために

おれはかまきり

かまきり　りゅうじ

おう　なつだぜ
おれは　げんきだぜ
あまり　ちかよるな
おれの　こころも　かまも
③どきどきするほど
ひかってるぜ

おう　あついぜ
おれは　がんばるぜ
もえる　ひをあびて
かまを　ふりかざす　すがた
わくわくするほど
きまってるぜ

確認テスト　詩を読んで、問いに答えなさい。

(1) それぞれの詩の季節を漢字一字で答えなさい。

あしたこそ〔　　〕　おれはかまきり〔　　〕

(2) それぞれの詩は何連で構成されているか。漢数字で答えなさい。

あしたこそ〔　　〕　おれはかまきり〔　　〕

(3) 「あしたこそ」と「おれはかまきり」の詩の種類を選びなさい。

ア　文語定型詩　イ　文語自由詩
ウ　口語定型詩　エ　口語自由詩

〔　　〕

(4) ——線①「とんでいこう　どこまでも」の行で用いられている表現の説明として適当なものを選びなさい。

ア　普通(ふつう)の言葉の並べ方から語順が入れ替(か)わっている。
イ　同じ言葉が繰(く)り返されている。
ウ　言葉が形や意味が対応するように対(つい)に並べられている。

〔　　〕

(5) ——線②「であうために」とあるが、であうためにどうするのか。適当なものを選びなさい。

ア　くっつけて　イ　はなひらく
ウ　まいあがります　エ　とんでいこう

〔　　〕

(6) ——線③「どきどきするほど」と形の上で対になっている行を第二連から探し、その最初の三字を書きぬきなさい。

□□□

(7) それぞれの詩にうたわれている内容を選びなさい。

ア　未来を夢見て遠くまで飛んでいこうとする気持ち。
イ　花開いたことを喜び、舞(ま)い上がる気持ち。
ウ　暑さで不機嫌(ふきげん)になり、周りに八つ当たりする様子。
エ　活力がみなぎり、誇(ほこ)らしげな様子。

あしたこそ〔　　〕　おれはかまきり〔　　〕